

令和3年度 学校評価報告書 【大洲市立肱東中学校】

教育目標『自ら学び、心豊かに、未来をしなやかに生き抜く生徒を育てる』

- 経営の重点
- 確かな学力の定着と表現力の育成
 - 認め合い支え合う人間関係づくり
 - 自己有用感としなやかな感性の涵養
 - 地域に開かれた温もりのある学校づくり

〔評定 A：順調 B：概ね順調 C：あまり順調でない D：順調でない〕

区分	具体的事項	取組・評価結果	○成果 ●改善	評価委員の意見	評定
教育課程・学習指導	分かりやすい授業	○授業改善を推進し、主体的・対話的で深い学びを目指した。 ○新聞を活用した視写を行った。 ○ICT 機器を積極的に活用し、個別最適な学びの実現に努めた。 教職員の肯定的評価 (97) % 児童生徒の肯定的評価 (83) % 保護者の肯定的評価 (74) %	○ICT 機器の活用により、生徒の学習意欲や操作技能を高めることができた。 ●授業改善を進めるとともに、生徒の理解度をしっかり見取りながら、日々の授業を行う。	・生徒が真剣に授業を受けているのに感心する。 ・教員の肯定的評価が高いことに違和感がある。自己満足にならない授業を望む。	B
	思考力・判断力・表現力の育成				
	家庭学習の習慣化				
	個別最適な学び				
生徒指導	登校することが楽しみな学校づくり	○生徒主体の行事や全員参加の委員会活動等、活躍の場を設定した。 ○生活調査や普段の観察を元に、少しの変容についても情報交換をした。 ○学期ごとに、定期教育相談を行い、教職員と生徒が気軽に話せる機会を設けた。 教職員の肯定的評価 (95) % 児童生徒の肯定的評価 (85) % 保護者の肯定的評価 (90) %	○生徒主体の学校行事の取組が定着しつつあり、生徒は達成感や充実感を味わうことができていると考える。 ●魅力的な委員会活動になるよう努める。 ●不登校については全校体制で、スモールステップによる支援を行う。	・下校中の生徒に会うが、どの生徒からも楽しいという返事があり、安心している。 ・不登校の生徒が心配である。 ・いじめ等の早期発見は難しいのではないかと。	B
	信頼関係づくり				
	自己肯定感の育成				
	道徳教育の充実				
健康・安全管理	安心・安全な環境づくり	○安全点検を確実にし、不備があれば、早急に対応した。 ○危機管理課や消防署の協力を得て防災教室や避難訓練を実施した。 ○毎学期の地区集会で登下校の安全について話し合うとともに、地域やPTA 校外指導部と連携し、あいさつ運動を兼ねた登校指導を行った。 教職員の肯定的評価 (93) % 児童生徒の肯定的評価 (94) % 保護者の肯定的評価 (91) %	○関係機関や地域の防災士会の指導を受け、地域の実情に応じた、災害時の適切な行動について学ぶことができた。 ○地区集会で危険箇所の情報を共有し、交通安全への意識が高まった。 ●地域の防災士会と連携を図り、地域防災の担い手を育てる。	・コロナ禍の中、特にこれといった問題が起こってないのはすばらしいことだと思う。 ・地震、火災を想定した避難訓練や防災教室、救急救命教室等、確実に行われている。	B
	ルールを守った学校生活				
	心と体の健康づくり				
	交通マナーを守った登下校				
保護者・地域との連携	情報発信	○教育活動についての広報を、通信やホームページで行った。 ○小・中合同で、地区懇談会を実施し、意見聴取の場を設けた。 ○地域の人材や事業所を生かした学習活動を計画し、実施した。 教職員の肯定的評価 (93) % 児童生徒の肯定的評価 (81) % 保護者の肯定的評価 (88) %	○地域人材を講師に招いた学習や、校区内の事業所の協力を得た職場体験学習を実施することができた。 ●ホームページを日々更新し、教育活動の様子をタイムリーに発信するよう努める。	・ボランティアを学ぶ活動等で、心豊かな生徒が育っている。 ・地域での挨拶ができていない。成長期の難しい心理状態の中で難しい問題である。	B
	開かれた学校づくり				
	相互理解				
	公共心の育成				
その他	キャリア教育の充実	○5日間の職場体験学習を実施した。 ○体育大会や人権まつりにおいて、生徒が考え実行する活動を展開した。 ○部活動で、技能の向上と人格の形成を旨とした。 教職員の肯定的評価 (100) % 児童生徒の肯定的評価 (92) % 保護者の肯定的評価 (92) %	○部活動に主体的に取り組む姿勢が育ってきており、技能の向上にもつながった。 ●生徒の主体性を促す教育活動となるよう、教職員の意識を改革していく必要がある。	・部活動の活性化については、各種大会で活躍している様子が見られ、生徒たちの張り合いになっていることが伺える。	B
	行事への取組				
	部活動への取組				
	生徒会活動への取組				
総括	職場体験学習の実施が危ぶまれたが、校区内の事業所の理解と協力を得て、無事実施できた。今後も、地域とともに教育活動を進めていきたい。また、ICT 機器の活用など、生徒一人一人が伸びる学習指導に努めていきたい。				

